

# 2007年3月期 連結業績報告

---

C  BIRD HOLDINGS

株式会社サイバードホールディングス

2007年5月22日

## 連結業績トピックス

### 1. 本業

#### 『本業連結損益及びキャッシュ・フローの大幅改善』

- JIMOSとの経営統合及びフル連結開始によるコマース収益の拡大
- モバイル・コンテンツ事業のニケタ成長維持と売上高過去最高更新
- グループ不採算子会社の減少

### 2. 財務影響

#### 『子会社株式に係るのれん償却の促進』

- JIMOS及び海外子会社に係るのれん償却促進
- 結果、JIMOSに係るのれんのFY07以降の影響はほぼ消滅

### 3. 成長領域での成果

#### 『収益力加速のための顧客資産、収益基盤の拡充』

- (株)エスクルーを子会社化し、モバイルコマースプラットフォームを獲得
- 広告配信対象会員を主とする顧客資産を順調に拡大

## 2007年3月期 連結業績(サマリー)

単位:百万円(単位未満切捨)

	FY05	FY06	前期比 増減	前期比	主な要因
売上高	15,089	23,571	8,482	156.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶下期JIMOS連結開始によるコマース売上高大幅増加</li> <li>▶コンテンツ事業が引続き過去最高売上高を更新</li> </ul>
売上総利益 (対売上比率)	5,562 (36.9%)	10,702 (45.4%)	5,140 (+8.5pt)	192.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶利益率前期比8.5pt上昇</li> <li>▶コンテンツ事業の原価率改善効果と原価率の低い通販事業連結開始</li> </ul>
営業利益	△247	786	1,033	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶主力事業(コンテンツ、コマース事業)の収益力拡大</li> <li>▶グループ不採算子会社の減少</li> <li>▶子会社のれんの定額償却 5.4億円をSGA計上</li> </ul>
経常利益	35	△1,552	△1,588	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶1Q :海外子会社取引に伴う為替差損(△3億円)</li> <li>▶中間:JIMOS株式のれん追加償却(△19億円) (中間期は関連会社につき持分法投資損失にて計上)</li> </ul>
当期 純利益	△143	△7,830	△7,687	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶期末:JIMOS株式のれん追加償却(49.8億円)</li> <li>▶期末:海外子会社のれん追加償却(4.3億円)</li> </ul>

営業CF	△1,628	1,228	本業収益力の拡大により、営業CFも大幅改善		
------	--------	-------	-----------------------	--	--

## 子会社株式に係るのれん償却の促進

### ➤ JIMOS

- ・年間償却70億円実施
- ・期末残高24百万円まで圧縮

⇒ ・FY07年間償却予定額1百万円程度  
・当初想定した今後の財務影響  
(年間償却3.5億円(20年))はほぼ消滅

### ➤ Airborne、Cellus (海外子会社)

- ・年間定額償却3.7億円実施  
(内、Cellusは1.6億円)
- ・非定額償却分の減損4.3億円実施(※)

⇒ ・FY07年間定額償却予定約2億円  
・Cellus分1.6億円はFY07での発生なし

### ➤ その他国内子会社

- ・年間定額償却0.5億円実施

⇒ ・FY07年間定額償却額約1億円

FY06年間総額78億円実施

⇒ FY07は、年間約3億円の定額償却を想定

※海外子会社に係る非定額償却分  
FY06 4.3億円減損実施

### <償却背景および理由>

- ・同社事業の収益性は堅調に推移
- ・一方、今後の現地コンテンツ市場における競争の激化を予想  
⇒ 保守的見地より、同社株式ののれん減損を実施

## 2007年3月期 連結業績(セグメント別売上高)

単位:百万円(単位未満切捨)

	FY05	FY06	前期比 増減	前期比	主な要因
コンテンツ事業	10,808	12,047	1,238	111.5%	▶戦略的集客策及び効果的なプロモーションの実施
コマース事業	253	6,191	5,937	2440.2%	▶JIMOS通販事業、子会社アウトレットプラザの収益連結開始
ソリューション事業	3,074	2,750	△323	89.5%	▶不採算子会社を整理
広告事業	67	256	189	381.3%	▶メルマガ配信対象会員数の増加と広告商品販売体制の強化
投資事業	—	148	148	—	▶投資先1社のキャピタルゲイン実現 ▶現在6社に投資済
海外事業	885	2,176	1,291	245.9%	▶海外子会社をFY05下期より連結 ▶FY06は同子会社を通期フル連結
合計	15,089	23,571	8,482	156.2%	

# 補足資料

## 2007年3月期 連結業績(セグメント別利益状況)

単位:百万円(単位未満切捨)

	コンテンツ 事業	コマース 事業	ソリューション 事業	広告 事業	投資 事業	海外 事業	本社	合計
売上高	12,047	6,191	2,750	256	148	2,176	—	23,571
営業 利益 (利益率)	2,997 (24.9%)	27 (0.4%)	△337 (—)	△112 (—)	8 (5.9%)	△356 (—)	△1,439	786 (3.3%)

- コンテンツ : 営業利益率 24.9%、現状、グループ収益獲得の主力事業
- コマース : JIMOS化粧品事業における翌期以降の成長に向けた新規顧客獲得のためのプロモーション・新商材開発による積極的コスト投下実施  
また、下期のJIMOSのれん定額償却1.3億円を当該セグメントで計上
- ソリューション : 人員数按分での全社インフラ関連費用等の間接コスト負担影響あるものの同コスト計上前の主力のモバイルサイト開発受託事業は実質営業黒字
- 海外 : のれん償却 3.7億円を当該セグメントで計上、本業面は実質営業黒字

# 2007年3月期 連結業績(セグメント別売上高四半期推移)

## 四半期毎 セグメント別売上高推移

単位:百万円(単位未満切捨)

	FY05	FY06				四半期 増減 (対直近3Q比)	対3Qとの 主な増減要因
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
コンテンツ事業	2,948	2,873	2,866	2,960	3,346	385 (113.0%)	年末年始の効果的なプロモーション効果
コマース事業	87	62	91	3,160	2,876	△284 (91.0%)	3Q年末商戦の反動
ソリューション事業	883	542	686	892	628	△263 (70.5%)	不採算子会社を整理
広告事業	51	30	38	56	130	74 (231.6%)	営業力強化により代理店の拡販に成功
投資事業	-	-	143	5	-	△5 (-)	現在6社投資済
海外事業	473	522	591	533	529	△3 (99.4%)	3Gなど市場環境への対応に注力中
合計	4,445	4,031	4,418	7,608	7,512	△96 (98.7%)	

## 2007年3月期 連結業績(販売費及び一般管理費)

経営統合により人件費や戦略的経費(広告宣伝費など)が大きく増加

単位:百万円(単位未満切捨)

	FY05	FY06	増 減	主な増減要因
人件費	1,611	2,879	1,268	JIMOS統合により増加
広告宣伝費	236	1,767	1,530	主にJIMOS通販事業に係る広告宣伝費が増加
研究開発費	972	943	△29	
支払手数料	1,852	1,999	146	コンテンツ事業伸長に伴う課金代行手数料 JIMOS通販事業に係る手数料増加等
のれん償却	216	545	328	海外子会社のれん償却を前期下期より開始 JIMOS・同子会社等のれん償却を当下期より開始
その他	919	1,781	861	JIMOS通販事業に伴う荷造運賃 統合に伴う地代家賃等が増加
合 計	5,809 (38.5%)	9,915 (42.1%)	4,106 (+3.6pt)	

※()は売上高比率

## JIMOSとの経営統合と本業収益改善により総資産増加

単位:百万円(単位未満切捨)

	FY05 期末	FY06 期末	前期比 増減	主な増減要因
流動資産	6,778	11,945	5,166	現預金36億円増加(営業CF12億円増加とJIMOSキャッシュのグループ取込)
有形・無形固定資産	7,475	7,623	147	JIMOSのれんは、期中でほぼ償却終了
投資その他の資産	4,702	3,009	△1,693	
資産合計	18,957	22,578	3,620	
負債	5,809	7,762	1,952	JIMOS他、子会社新規連結による買掛金等の流動負債項目増加
純資産	13,147	14,815	1,668	
内 資本剰余金	(5,508)	(14,469)	8,960	JIMOS株式取得(株式交換)に際する新株式発行の対価
内 利益剰余金	(1,450)	(△6,195)	△7,646	JIMOS・海外子会社のれん償却要因
負債・純資産合計	18,957	22,578	3,620	

## 本業収益の拡大に伴い、営業キャッシュ・フローも大幅改善

単位：百万円（単位未満切捨）

	FY04	FY05	FY06	主な要因
営業CF	597	△1,628	1,228	+) 営業利益 7.8億円、減価償却・のれん償却 11億円など △) 法人税・利払 5億円、他支払1億円など
投資CF	△1,029	△4,919	△2,579	△) 海外子会社はじめ連結子会社株式取得23億円が主
財務CF	503	5,064	2,876	+) 海外子会社株式取得に際する借入が主
キャッシュ増減	71	△1,556	1,512	

現金等換算差額 0 △72 △13

キャッシュ期末残高 3,253 1,697 5,164

(注) キャッシュ増減 = 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金等換算差額

(注) FY06のキャッシュ期末残高には、別途JIMOS新規連結開始による同社キャッシュ1,953百万円を含めております。